

国の「第9次職業能力開発基本計画」の策定状況等について

1 経緯

平成22年10月以降、労働政策審議会職業能力開発分科会において第9次計画を協議

2 計画案の提示

1月25日開催の第57回分科会において、第9次計画案を提示

3 今後の予定

年度内に策定予定

【国の計画案の特徴】

我が国の産業構造の変化や労働市場の変化（フリーター・ニート、非正規労働者の増加等）、リーマンショックによる経済雇用への大きな打撃等の中で、これらへの教訓や対策等として策定された「新成長戦略」（H22.6.18閣議決定）に盛り込まれた戦略分野及び具体的施策に基づき、

- ① 今後成長が見込まれる産業分野の人材育成
- ② 内需拡大と成長力を支える雇用・人材戦略（少子高齢化による労働力人口の減少への対応としての若者・女性・高齢者等の労働市場への参加の促進等）

における職業能力開発の推進を重点施策に位置付けている。

合わせて、引き続き、

- ③ 我が国の基幹産業であるものづくり分野の人材育成及び技能の振興
 - ④ 職業生涯を通じたキャリア形成支援の一層の推進
- を施策の柱に設定。

また、地方分権の進展による国と地方との役割分担の更なる明確化の中で、国の役割として、

- ⑤ 我が国全体の職業能力開発のプロデュース機能（総合調整機能）の強化
- を新たに盛り込んでいる。